

広報

隠岐の島

【令和7年】
2025年

3
月号



広報「隠岐の島」を
スマホへお届け



特集

企業も人も、育つまち。～特定有人国境離島地域社会維持推進交付金～

.....2

表紙

町指定無形民俗文化財 今津のとんど
(P6に関連記事あり)

企業も人も、育つまち。

～特定有人国境離島地域社会
維持推進交付金～

本町では、慢性的な人手不足や後継者不足、長引くコロナ禍の影響等により、厳しい経営状況が続いたことで企業における雇用創出や事業承継等の課題が顕著化しています。

そうした状況を打開するため、町では、地域経済を支える事業所の皆様とともに、「住んで良かった」のまちづくりの実現に向けた取組を行っています。

町が、国・県とともに実施する「特定有人国境離島地域社会維持推進交付金」のうち「雇用機会拡充事業補助金」では、創業・事業拡大等を行う民間事業者に対して、事業資金の一部を支援する事業を実施しており、過去6年間でべ28事業者に活用していただくなど、雇用の場の創出等につながっています。

今回の特集では、「雇用機会拡充事業補助金」を活用し、新たに創業された取組を中心にご紹介します。

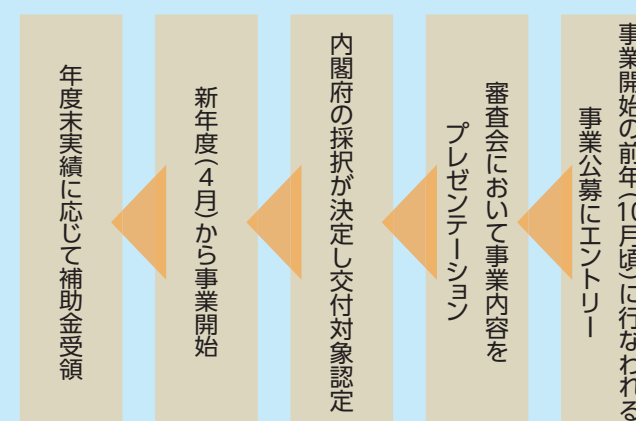
特定有人国境離島地域社会 維持推進交付金とは

この交付金は、有人国境離島における人口の社会増を実現するため、ヒトが交流し、それに伴いモノ・カネが対流し、島内経済が拡大する地域社会を目指して、内閣府が地方自治体へ交付するものです。

本交付金事業は、大きく5つの事業に分かれています。フェリーや高速船、出雲便航空機を低廉に利用できる「航路・航空路運賃低廉事業」。農水産物の移出、原材料の移入にかかる輸送費を支援する「輸送コスト支援事業」や本



雇用拡充事業の流れ



町の地域性を活かし、観光客の滞在時間を延ばす効果のある事業を本土の事業者と連携して行う「滞在型観光促進事業」、そして、本町において創業や事業拡大を行う民間企業を支援し、本町の雇用の拡充、定住、定着、移住の促進を図る「雇用機会拡充事業」です。本交付金の活用は、本町の地域社会の維持、推進に寄与しており、「生まれて良かった、住んで良かった、訪れて良かった」の三つの良かったが響くまちづくりに資するものです。

次のページでは、今年度に交付金を活用して実施された、2つの創業事例についてご紹介します。

本町初の共生型サービス施設設立 合同会社 ねんりん

共生型サービスとは

共生型サービスとは、障がい福祉・介護保険サービス事業者が、それぞれお互いのサービスを提供しやすくすることを目的とした制度です。サービスが始まった背景には、障がい福祉サービス事業所の利用者が、65歳になると介護保険の被保険者になるため、事

業所を替えなければならぬという事情がありました。

共生型サービスは、障がい者が65歳を過ぎても、利用者にとってこれまでと同じ施設を選択できる点や、障がい者と高齢者が同じ施設で過ごすことで、お互いに良い刺激を得るというメリットがあります。



▲放課後に子供たちと触れ合っている代表の山根さき子さん(写真左)



▲改修された施設の中の様子

創業のきっかけと想い

合同会社ねんりんは、令和6年4月に加茂地区の民家を改修して開業しました。

代表を務める山根さきさんは、友人の誘いで神戸市から本町に移住されたインターン者です。本町での生活を送るなかで、本町に介護・福祉施設が少ないのではと考え、利用者側の選択肢を増やす環境を整える一助になりたいとの思いから、一念発起し、自身で共生型デイサービス施設を開設しました。

活動と魅力

会社が運営する施設「えんがわ」では、平日の午後3時以降の子供の放課後一時預かりを主とした事業を行っています。

また、高齢者・障がい者がどなたでも、休日も含めて午前中から利用することが可能な施設で、昼食が楽しめることも施設の魅力の一つです。飲食店とのタイアップにより昼食を

提供しており、現在改修中の離れにある土間や制作中のピザ窯を使って利用者の方と一緒に料理体験などを計画中だそうです。現在2件の利用があるとのこと、「今後この取組がいつそ町内に広まり利用してくだされば」と山根さんは話します。

今後の目標

山根さんは「地域に根差した施設づくりをしていきたい。そうした施設とすることが障がい者の方より安心して利用いただける施設となると思います。高齢者となった方が、この人の所ならよく知っているし安心だと思っていただけよう、アットホームな環境を整えていきたい」と今後の目標を語っていただきました。

まだ制度自体が新しい共生型サービスですが、本町第一号の施設として、幅広い利用者の方の受け入れとそれに伴う介護・福祉従事者の雇用の拡大につながることを期待されています。



伝統の加工品製造方法を次世代につなぐ 合同会社 物産工房おき



▲物産工房おきの皆さん(写真左側から代表社員の古川公平さん、社員の高梨亜咲花さんと野津益伸さん)

合同会社 物産工房おきとは

物産工房おきは、都万地区の水産加工業者が使用していた工場を再利用し、代表の古川公平さんを中心として、複数の個人業者さんと昨年1月に立ち上げられた食品加工業者です。
海産物・農作物・山菜をはじめとした食品の加工はもちろん、正月用のしめ飾りなど、担い手の高齢化により、製造方法や文化の継承が難しくなりつつあるものなど幅広い商品の製造方法の確立とその継承、宣伝を目的として設立されました。

会社を立ち上げたきっかけ

きっかけは、個人で製造業を続けていくことが厳しい現状です。
製造・流通には様々なルールがあります。特に製造時に混入する恐れのある異物の除去や食品の表示に関する規定は年々厳しくなってきたり、そのための設備を個人で整えることは難しいと考え、都万地区の加工業者を中心に会社を立ち上げました。



▲事業で購入した備品

物産工房おきの魅力

古川さんは、「商品の材料は、できるだけ町内でとれたものを使うことを心掛けています。本町独自の製造方法などにより地域の特産品を製造し、その過程で、昔ながらの製造方法を守る高齢の方の雇用機会も確保しつつ、若い世代に伝えることができるのも魅力です」と話します。

また、伝統的な商品だけでなく、現代的な要素も取り入れた商品づくりにも挑戦し、幅広い世代に喜んでいただける商品作りも心掛けていくとのこと。



▲物産工房おきで作られる商品

今後の目標は…

「まだまだ新たな商品のアイデアがあります。会社は今年創業2年目となるため、積極的に新商品を開発していきたいです。また、商品は現在町内の一部の店舗で取り扱っていますが、今後はオンラインショップの開設も予定しています。その他、他社のホームページにバナー広告を掲載するなど、本町の特産品とその文化を全国にPRしていきたいです」とのことです。事業はますます拡大する見込みです。今後も様々な商品開発による事業拡大により、本町の雇用が拡大していくことが期待されています。



▲商品を確認する社員の野津益伸さん

◆R6年度の交付金の活用事例

前述した2事業所以外にも本交付金を活用し、雇用拡大を行った方がいます。

もし、創業や事業拡大をご検討されている方がおられましたら、ぜひ参考にしてみてください。



OKIDS'

古民家を改修した英語教室の整備運営



合同会社 Biken

自社所有の建物を活用した隠岐の食と観光をテーマにした飲食店開店

地域社会の維持につなげるため

特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用した「雇用機会拡充事業」は、本町が目指す「生まれて良かった、住んで良かった、訪れて良かった」の三つの良かったが響く町づくりの実現のために必要な施策として活用しています。

今後本事業を活用し、創業、事業の拡大による地域産業の活性化を図り、特定有人国境離島である隠岐の島町の地域社会の維持につなげるため有効活用したいと考えております。

本事業の活用にあたっては、雇用の拡充など一定の要件があります。まずは、本町の事業担当課にお気軽にご相談ください。

◆お問い合わせ先

事業全般について

地域振興課(2・8570)

農林水産業の事業者の皆様

農林水産課(2・8563)

農林水産業以外の事業者の皆様

商工観光課(2・8575)

興味があるけどどうすればいい?

雇用機会拡充事業に関する交付金について簡単に解説します

○補助対象者

- ①隠岐の島町内において**創業する者**(事業を継承するものを含む)
- ②隠岐の島町内に事務所を有する事業者で、**販路拡大等により事業拡大を行う者**
- ③主として隠岐の島町の商品、サービス等の販売を目的として、隠岐の島町以外の地域において創業する者

○補助対象経費の上限額

事業実施者は下表のとりの上限額で補助を受けることができますが、補助対象経費の4分の1の額(下表の括弧内の額)は自己負担の必要があります。

区 分	補助対象事業費の上限額
創 業	600万円(150万円)
事 業 拡 大	1,600万円(400万円)
設備投資を伴わない事業拡大	1,200万円(300万円)



Part 75

健康づくり通信

3 すべての人に健康と福祉を

うつ病に関する理解を深めましょう

心の健康は体の健康と同様に大切です。心の病は誰でもかかる可能性がある身近な病気です。その中の一つである「うつ病」は、日本人の約15人に1人がかかると言われています。正しい知識を持ち、早期の適切な対処につなげましょう。

●うつ病は、決して心の弱さで発症するものではありません

大きなストレスが原因となり、脳の神経伝達物質のバランスが崩れるもので、薬の内服や休養で回復します。つらい出来事だけでなく、昇進や結婚、子どもの独立等の、一見喜ばしいことでもストレスとなることがあります。

●うつ病の代表的な症状

【身体症状】

- ・不眠、眠り過ぎる・食欲がない、食べ過ぎる
- ・頭痛、肩こり、めまい、吐き気等

【気持ちや思考の症状】

- ・寂しい、悲しい、落ち込み、不安（抑うつ）
- ・興味がわかない、楽しめない
- ・思考力、集中力の減退
- ・無価値観、不適切な罪責感

まず睡眠や食欲の変化に気づくことが多く、右記のような症状が2週間以上続く場合は、相談機関への相談や医療機関への受診をお勧めします。

●まずはサインに気づきましょう

代表的なサインは次のようなことがあります。

- ・口数が少なくなる・イライラしている
- ・人付き合いを避ける・外見を気にしない
- ・朝や休日明けに調子が悪い・だるさを訴える
- ・遅刻、欠勤が増える

自分自身あるいは周囲の人のサインに気づいたら、「休養をとる・信頼できる人や相談機関に相談する・医療機関を受診する」ことを基本に対応しましょう。

●地域で、事業所で、「ゲートキーパー養成研修会」を実施しませんか？

ゲートキーパーとは、「身近な人の変化に気づき、声をかけ、話を聴き、必要に応じて専門家につなぎ、見守る役割を担う人」のことです。研修会は、心の病気の基礎知識や現状、ゲートキーパーの役割、悩んでいる人への接し方、自分自身の心の健康管理方法を主な内容としてあります。

自分自身のためにも、周囲の方への対応にも役立てていただける内容となっておりますので、ぜひご利用ください。

研修会に関するお問い合わせや実施のご希望は左記までご連絡ください。

◇お問い合わせ

役場保健福祉課 健康係

☎ 2・8 5 6 2



～ もっと魚を食べよう 「魚のとろろ蒸し」～

【材料（2人分）】			
魚（たらや鮭など）	2切れ	A	片栗粉 大さじ1
塩	小さじ1/4		塩 少々
酒	小さじ1	B	だし汁 70ml
大和芋・長いも	60g		淡口醤油 小さじ1
ねぎ	適量		みりん 小さじ1
			わさび 適量

- ①魚は半分に切り、塩、酒をふる。ねぎは小口切りにする。
- ②大和芋・長いもをすりおろし、Aを加えてふんわりするまでよく混ぜる
- ③魚に②をのせ、Bを混ぜ合わせたものをかける。
- ④10～12分間蒸す（ラップをかけて電子レンジ加熱でもOK）
- ⑤加熱後そのまま2～3分間おき、取り出してねぎ、わさびを添える。



魚介類には良質な動物性たんぱく質、ビタミンなどの栄養素が豊富であり、動脈硬化予防が期待されるDHAなど様々な機能性成分が含まれています。近年は魚離れが進んでいますが、刺身や焼き魚などのシンプルな料理以外にも、色々な食べ方を知っておくことで、食卓に魚が並びやすくなると思います。

～ 隠岐の島町健康づくり推進協議会食生活部会 担当：隠岐の島町役場保健福祉課 ～

1/15 町指定無形民俗文化財 今津のとんど



今津漁港周辺で公開されました。大竹で組んだとんどに各家での正月飾りなどを詰めたサイフ（宝袋）や大吹き流しを飾り、これらを燃やして豊作や豊漁を願います。火をつけたとんどを海に倒し、ふんどし姿の地区の男性が海に飛び込んでこれを解体して、前年に祝いのあった家に担いで届けました。

1/26 文化財防火デーにあわせ 五箇地区で消火訓練



文化財防火デーにあわせ、隠岐温泉GOKAで行われました。隠岐温泉GOKAでの火災発生を想定し、五箇地区の消防団による訓練が行われました。重栖川を水利として約500メートルをホースで送水し、火点への放水などを行いました。

2/3 今年1年の無病息災を願って 節分行事



町内の各保育所で行われ、節分行事について園児たちが楽しみながら学ぶ機会となりました。園児たちは、各自鬼のお面を手作りし、歌に合わせてダンスを踊ったり、豆を模したボールを投げて、鬼の顔をした風船に当てるなど、ユニークな方法で節分を楽しみました。

1/19～25 第57回の伝統行事 五箇地区冬季体力づくり教室



五箇地区各地で行なわれ、今年で57回目の開催となりました。地域の子供から大人までジョギングや卓球をはじめ、全6種目に分かれ、早朝から体力作りに励みました。運動を終えた後は地域の方が作ってくれた朝食を食べ、各々職場や学校へ向かっていました。

2/1 大人への第一歩を 布施地区で立志式



布施公民館で行われ、子供から保護者へ感謝の言葉が送られました。この行事は布施地区の14歳の春を迎える若者が、人生の節目に将来への「新たな決意」を胸に抱き成長することを願い、昭和50年から開催されており、今年で47回目となります。

2/6 町指定無形民俗文化財 山田客祭風流



山田神社で公開されました。その年の豊作や無病息災を願い、鬼の文字や害獣が描かれた的をめがけて矢を射る、射的の神事が神社境内で執り行われました。地区の方に見守られる中、射られた弓矢が勢いよく的に当たる度に、拍手が起きました。



隠岐の島町教育委員会事務局
電話2,2206 (代表)

中条小学校

しめ飾りづくり



中条小学校では、毎年12月にしめ飾りづくりを行っています。この行事はPTA活動として、伝統的に行われている行事です。

今年度は12月21日に行いました。児童が地区ごとに5つのグループに分かれ、講師として来ていただいた地域の方々に教えてもらいながら、それぞれにしめ飾りを作りました。1年生にとっては、初めての活動でしたが、講師の方や家族の手ほどきを受けながら、1人1つずつ飾りを作り上げました。学年が上がるにしたがって、昨年までの経験を生かしながらしめ飾り作りにチャレンジする姿が見られました。6年生は6回目のしめ飾り作りとあって、活動が始まると勘を取り戻し、するするっと作り上げる姿が見られました。中には、2つ3つと作り上げる児童もいました。

地区によって、作ったしめ飾りの種類も様々でした。児童が出来

文化財防火デー

パトロールを行いました



1月26日は文化財防火デーです。この日は文化財を火災などから守り、文化財保護に対する意識を高めるために制定されました。隠岐の島町でも毎年この時期に文化財防火デーパトロールを実施しています。

今年度は1月23日から24日にかけて、建造物を中心とする指定文化財の防火・防災体制や設備を、関係する指定文化財所有者、隠岐広域連合消防本部、島根県とともに確認し、佐々木家住宅では火災訓練を行いました。

隠岐の島町教育委員会ではホームページなどで町の文化財一覧を公開しています。貴重な文化財を守っていくため、地域の文化財にご理解をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



佐々木家住宅
(釜屋地区)での
火災訓練

白鳥神社
(今津地区)
での点検

上がったしめ飾りを互いに見せ合う姿が微笑ましく、とても温かい気持ちになるひとときでした。迎えた新年、それぞれの家庭では、玄関先などに児童が作ったしめ飾りが飾られたことと思います。この伝統ある行事が、この先も続き、中条小学校の卒業生が地域の講師として、しめ飾り作りに参加してくれることを願っています。



しめ飾りづくりの様子

あなたの作品を展示してみませんか？

絵や書、木工、手芸など、もの作りをされているグループや個人の方、図書館の展示コーナーで展示をしてみませんか？

ご希望の方はぜひお知らせください。

また、身近でそのような活動をご存知の方は情報をお寄せください。



図書館だより

4 本の読み方をみんなに
11 読み聞かせのまちづくり
●開館時間:午前10時～午後6時 ●休館日:月曜日・第3日曜日
※祝日が月曜と重なった場合は開館し、翌日は休館

隠岐の島町図書館 電話08512-2-2341 Fax08512-2-9198

本の寄贈について

家の整理などの際に不要な本がありましたら、ぜひ図書館へ寄贈をお願いします。隠岐に関する本、古い映像資料などは特に大歓迎です。なお、寄贈後の取扱いについては当館にご一任ください。

第47回 ジオタイムス



故郷の紹介

隠岐ジオパーク推進機構：チェイス

引っ越してから様々な共通点を見つけ出しています。例えば、島前のカルデラや大山隠岐国立公園です。オレゴン州にも綺麗な湖で満ちているカルデラがあり、そのカルデラとカルデラの周辺が国立公園です。また、災害が少ないところも似ています。

機会があれば、オレゴン州がどれだけ隠岐諸島に似ているかを自らの目で見てみませんか？



▲クレーターレークカルデラの湖

皆さん、こんにちは！チェイスです。もうすぐ3月になり、寒い中でも少しずつ春の訪れが近づいています。日本の冬は私の故郷であるオレゴン州の寒さと変わらないはずですが、なぜか日本に住んでいる時は寒さを余計に感じます。だから、冬になるとこたつ生活で毎日を送っていますが、春になり、こたつから出るようになると、自分の故郷についてふと思い浮かべることが多くなります。

オレゴン州はアメリカ西海岸に位置し、農業や林業、漁業等が盛んでアメリカの中でも地方の印象が強い場所です。しかし、最近ではコンピューターのインテル株式会社などのハイテク業界が拠点を置くなど、街づくりが進行しています。オレゴン州には、北部の登山道や、砂丘とチーズ等の乳製品で有名なティラムック市、中央部の山脈にあるスキー場、南部のピノワールをはじめとするワイン産業等々、隠岐諸島のようにたくさんの魅力があります。

そんな私の故郷のオレゴン州ですが、実は隠岐に

多世代対話型交流学習 「つながらあや」を行いました。



本町の子供たちが地域の大人と人生について語り合う「つながらあや」が、隠岐養護学校で1月16日に開催されました。高等部の生徒7人が初対面の社会人から人生のほろ苦い体験や仕事での失敗談を聞き、自らの生き方を考えました。

この取組は地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支えていく気運を醸成することを目的として開催されました。

参加した生徒たちは、地域の大人と対話することにより、多様な人生観に触れ、自分自身を振り返り、また、隠岐の島町での暮らしや働くことをより具体的にイメージすることができたことでした。



地域の方と話している様子

新たな教育委員体制



令和7年1月1日以降の教育委員体制は次のとおりです。

【新たな教育委員体制】

教育長 野津 浩一氏

委員 谷田 一子氏

(教育長職務代理者)

委員 藤野 雅栄氏

委員 常角 敏氏

委員 眞野 裕敏氏(新任)



▲新たに教育委員に
任命された
眞野 裕敏氏

【退任された教育委員】

山下 豊範氏

令和6年12月31日をもって、山下豊範さんが教育委員を退任されました。8年間という長きにわたる、隠岐の島町の教育行政に多大なご尽力を賜りましたことを厚くお礼申し上げますとともに、今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。



隠岐ひまわり基金法律事務所
(島根県弁護士会所属 弁護士 小林竜也)
☎ 3-1877 (城北町52番地)
(営業時間：平日午前9時半から午後6時まで)

みんなの食堂へ♪

お～いで～♪

子どももおとなも一緒に
楽しくお昼ごはんを食べ
ましょう!!
食後は自由におそぼ～♪



食材寄付のお礼

平素より団体・個人の皆様より食材
をご寄付いただき、ありがとうございます。
とてもおいしいと子どもたちに
喜ばれています。引き続き食材(ジャ
ガイモやタマネギ)を募集しています
ので、どうぞよろしくお願いします。

3/16(日)

隠岐島文化会館

11:30～13:30

【申し込み先】

隠岐の島町婦人会 申込専用

070-4029-0370



▲当日の様子

第15回みなとオアシスSea級
グルメ全国大会in境港が、境港市
で11月9日・10日の二日間にわた
り開催され、全国から32団体が出
展し、約56,000人の来場者
で賑わいました。本町からは「隠
岐そば」が出店され、約800食
を売り上げる大好評で、本町の食
のPRにつながりました。

本町から隠岐そばを出店
海産物の祭典
Sea級グルメ全国大会

情報
アラカルト

産業廃棄物処分業・産業廃棄物収集運搬業

株式会社クリーン

産業廃棄物はおまかせください

廃船・家屋解体・漁具・農具の処分等
無料お見積もりいたします。
お気軽にお問い合わせください。

電話：08512-6-2111 FAX：6-2112
営業：8：00～最終受付 16：30 月から金

ホームページが新しくなりました！<https://clean-oki.com>





▲受章された米澤壽重さん

島後交通安全協会会長の米澤壽重さんが、この度交通安全賞章緑十字金章を受章され、隠岐の島町役場を訪れ町長に受章を報告しました。

この章は、多年にわたる交通安全の献身的な尽力と交通安全推進のため多大の功績が顕著な方に贈られるもので、1月15日に東京都で開催された第65回交通安全国民運動中央大会で受章されました。

米澤さんは、長きにわたり本町の交通安全協会役員として尽力され、平成22年からは会長として積極的かつ献身的に取り組み、貢献をされてきました。

受章した米澤壽重さんは「この受章は協会支部と地域の皆様の運動のおかげです。これを機に交通事故が一つでもなくなるよう、いっそう人の命を守る運動に力を注いでいきたい」と感謝の言葉を述べました。

交通米誉章緑十字金章受章
米澤壽重さん

印鑑・ゴム印
ご注文承ります!

実印、銀行印、認印、氏名印
住所印、慶弔・贈答用印 など
お気軽にお問合せください



団体活動のための小さな掛金大きな補償

スポーツ安全保険®

スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、地域活動、レクリエーション活動などを行う4名以上のアマチュアのクラブ・サークル・グループが加入できます。



保険の詳細内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

インターネットでかんたん加入

<https://www.sportsanzen.org>





公益財団法人スポーツ安全協会

スポーツ安全保険のご案内

あなたと一緒に！

**発電電所のメンテナンスに興味のある方を
募集しています！！**

【勤務先】
隠岐の島町または、西ノ島町の
事業所へ勤務

個別相談大歓迎です。
まずはお気軽に連絡ください。

中電プラント株式会社
人事担当：久保田

電話 080-5062-6508
メール e59253@cpc.gr.energia.co.jp





プレミアムソフトクリーム
550円



おまけ ふわ・もちり
絶品のたこ焼き
550円

【昼間の営業】
11:00～16:00

- ★ カラオケ 1,650 円/人 (1ドリンク付)
- ★ 船待ち時間等の休憩利用できます
550 円/人 (1ドリンク付)
- ◆ カラオケ・休憩とも飲食物持ち込み OK! ◆

【夜間の営業】 17:00～24:00
★ スナック・居酒屋メニュー

◆ 詳しくはお電話にてお問合せください ◆ ※ 消費税込みの価格です

☎ 090-8994-9902 又は 2-0190

マイ

定休日：月曜日
隠岐の島町西町八尾の一 14-1

戸籍コーナー			誕生		
(氏名)	(地区)	(保護者)	(氏名)	(地区)	(年齢)
徳山 葦人 ^{あひと}	西村	徳山 亮三	吉田 音玲 ^{おしろ}	栄町	吉田 海人
高村 優心 ^{うみ}	池田	高村 淳平	八原 俠 ^{きょう}	栄町	八原 涼
升田 祐維 ^{ゆうい}	港町	升田 菊太郎	田平 春子	上西	97歳
宇野 敬子	港町	83歳	河辺 イサ子	上西	85歳
鈴木 由利子	栄町	92歳	前田 君子	東郷	104歳
千本 方美	原田	82歳	池田 隆二	西町	82歳
河井 ササエ	港町	102歳	小澤 コナミ	中村	97歳
畑石 道子	小路	84歳	高梨 亘正	都万	77歳
村上 常二	北方	86歳	安藤 コトエ	山田	87歳
横田 光和	飯美	89歳	川上 タメ子	東郷	100歳
奥元 タマエ	蛸木	90歳			

隠岐の島町行事予定3月

1 日 土	
2 日 日	はじめてのえほん 10:30～11:00(隠岐の島町図書館)
3 日 月	隠岐の島町議会3月定例会議 (～14日(金)まで)
4 日 火	
5 日 水	
6 日 木	
7 日 金	
8 日 土	
9 日 日	はじめてのえほん 10:30～11:00(隠岐の島町図書館)
10 日 月	納付金時間外窓口 17:15～19:00(役場本庁町民ホール入口)
11 日 火	
12 日 水	
13 日 木	お知らせ便第411号発行
14 日 金	
15 日 土	
16 日 日	みんなの食堂 11:30～13:30(隠岐島文化会館)
17 日 月	
18 日 火	
19 日 水	食育の日
20 日 木	春分の日
21 日 金	
22 日 土	レコード鑑賞会 10:30～12:00(隠岐の島町図書館) としよかんキネマ 14:00～16:00(隠岐の島町図書館)
23 日 日	はじめてのえほん 10:30～11:00(隠岐の島町図書館)
24 日 月	
25 日 火	
26 日 水	
27 日 木	広報「隠岐の島」4月号発行 お知らせ便第412号発行
28 日 金	花生神社祭礼風流(津戸地内)
29 日 土	
30 日 日	はじめてのえほん 10:30～11:00(隠岐の島町図書館)
31 日 月	納付金時間外窓口 17:15～19:00(役場本庁町民ホール入口)

Happy Birthday

3 月 生まれの
おともだち



1 歳
まなと
瀧下 真叶くん(港町)
お兄ちゃん大好き真叶君♡
大きくなってね☺



1 歳
ましろ
野津 真城くん(加茂)
いっぱい食べて笑顔で
元気に大きくなってね♡



2 歳
せんり
佐々木 閃理くん(城北町)
ごちそうさましたはずなのに
もったくれ



2 歳
かいり
佐々木 開理くん(城北町)
あ！バスだ！
ふたりそろってゆびさした



3 歳
だいき
田中 大護くん(栄町)
たくさん食べて大きく
なってね！3歳おめでとう！



3 歳
なこ
堀江 菜子ちゃん(加茂)
歌うの大好き菜子ちゃん！
3歳おめでとう♡



3 歳
しの
黒澤 史乃ちゃん(有木)
お願いだけん
言うこと聞いて～！

3月7日(金)
締切

4月生まれのおともだちの1～3歳になる
お子さんを募集しています！

対象者 : 町内在住で4月生まれ満1～3歳のお子さん
応募方法 : 以下の項目を明記し、お子さんの写真を添えて、電子
メール・郵送・直接持参のいずれかでお申込みください。

- ①お子さんの氏名(ふりがな) ②年齢 ③性別 ④住所
⑤保護者氏名 ⑥電話番号 ⑦メッセージ(20字以内)
メールで申し込みされる際は、件名に
「広報隠岐の島〇月生まれのおともだち」等と記入して下さい。

■お申込み先
役場総務課広報広聴係
kouhou@town.okinoshima.shimane.jp



お申込み
二次元コード



人口と世帯数

令和7年2月1日現在
() は先月との比較

人口	13,007(-29)人
男	6,427(-22)人
女	6,580(-7)人
世帯数	6,851(-19)世帯

15歳未満人口 1,411人 《10.8%》
65歳以上人口 5,444人 《41.9%》
○増 転入 14 出生 7 その他 0
○減 転出 25 死亡 25 その他 0

▼早いもので2月も後半へ差し掛かっています。暦の上では春ですが、本町でも2月初旬から寒波の影響を受け、雪が降りました。よく「原田の祭りまでは冬が降る」と言いますので、まだ春は遠そうです。▼季節の変わり目は体調を崩す方が多いと思います。気温の寒暖差や気圧の変動によって、自律神経が乱れることが原因のようです。そういったときには、「朝食を食べる」「長くできる運動をする」などが予防法として効果的とのこと。▼私も気圧によっては、頭が痛くなることもあります。普段の生活を気を付けることが自律神経の乱れを改善することにつながるとして今後の私生活を見直していきたいと思っています。▼ぜひ、皆様も健康で過ごすため、参考にしてください。

(J・K)

編集後記